

日本近代建築の父・辰野金吾の仕事

建築家・辰野金吾について



辰野金吾

[1854-1919年・唐津市]

辰野金吾は工部大学校（現在の東京大学工学部）を卒業後、ロンドン大学に留学し、西洋建築を学びます。帰国後は日本国内の多くの洋風建築の設計を手がけ、その第一人者として活躍しました。

東京駅は代表作の一つであり、また佐賀県には辰野が建築設計をした武雄温泉楼門が残されています。

出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)



出典：日本銀行ホームページ

日本銀行本店 本館
(東京都)

◎ 詳しく知りたいときはこちら

[日本銀行「教えて！にちぎん 日本銀行本店の建物について教えてください」Webサイト](#)



旧唐津銀行

(佐賀県唐津市)
現在は辰野金吾記念館として使われています。

◎ 詳しく知りたいときはこちら

[旧唐津銀行「辰野金吾記念館」唐津市ホームページ](#)

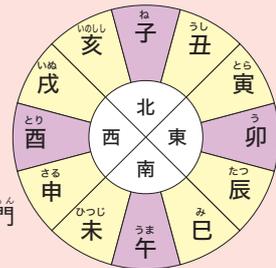
東京駅と武雄温泉楼門の天井



武雄温泉楼門 天井

東京駅の天井には8つの干支のレリーフがあります。

残りの4つの干支は、なんと、武雄温泉楼門の天井画に描かれています。



● 武雄温泉楼門
● 東京駅 天井



東京駅 天井



東京駅 天井 亥レリーフ